

特許紹介

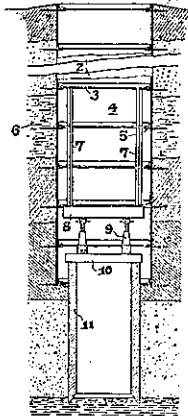
第26卷 第7號 昭和15年7月

井筒壓入方法

(特許第137364號 發明者) (特許權者) 木田保彦

地表面から任意の深き迄井戸を掘鑿し此の内側に數層の井枠(4)を張り、各井枠に内方に向ふ環狀の鏝(3)を掛け、上下の相隣る環狀の鏝間に夫々傳力杆(7)を鉛直に並列するやう嵌入し、其の下に當てたジャッキ類を介して下方の井筒(11)を土壤内へ壓入する方法であり(圖-1)、之に依り筒筒壓入の反作用力を各層の井枠に均等に分布して井枠相互の相對的變位を防止せんとするものである。

圖-1.

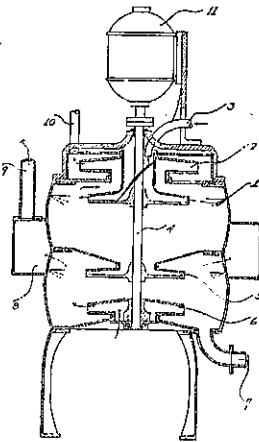


淨水装置

(特許第135455號 發明者) (特許權者) 津田喜次郎

密閉した室内に於て源水を噴射すべき放射翼車(1)と空氣壓を低下すべく之と同軸にて同轉する吸氣機(2)を裝設し、又其の下層に於て第2次放射翼車(5)と送風機(6)とを同軸に嵌裝し、上層に於て噴霧と低壓によつて源水中の有害瓦斯を發散せしめ、下層に於て氣曝を充分なるしめるやうにしたもので(圖-2)、之に依り水中含有の有害瓦斯の分離放散を速かならしめんとするものである。

圖-2.



水道栓

(特許第135606號 發明者) (特許權者) 中山増憲

從來の水道栓に於ては開弁の前後に於て計量器の指針に感ぜざる程度の少量の放水を行ひ盜水を爲し得る缺點を除去したものである。即ち栓筐(1)内に通水透孔(6)及通水口(5)を有する外筒(4)を定着し、給水側と放水側との壓力の差により開弁初期及び閉弁末期に於て急激に作動するピストン(7)を外筒(4)内に嵌裝して其の末端が通水口(5)を閉塞するやうにし、ピス

トンの頂端は昇降螺桿(15)と端片(16)により形成せられた段部(17)に多少間隙を與へて掛止せしめたものである(圖-3, 4, 5)

圖中(13)はピストンに設けた透孔で、昇降螺桿(15)を反時計方向に回轉せしめた時壓力水が此處を通つて凹處(8)に流入し更に段部(17)の間隙を通つてピストンを急降せしめて透孔(9)を全開して最初の放水を爲すのであり、更に螺桿を回轉せしめた時は通水口(5)が全開して給水は之を通り外筒内に入り透孔(6)より全能力を以て放射するのである。

圖-3. 本水道栓を閉弁せる場合

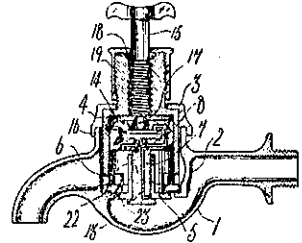


圖-4. 開弁初期の場合

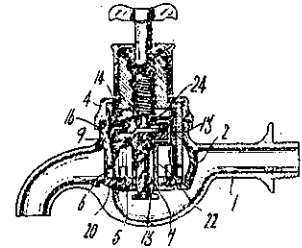
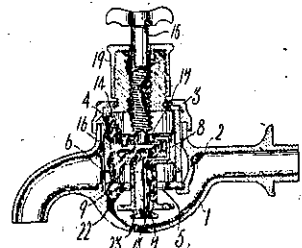


圖-5. 開弁の場合



液體淨化用濾砂洗滌装置

(特許第135691號 (特許權者) フィルトレーション、) (イタリヤメント、コーポレーション)

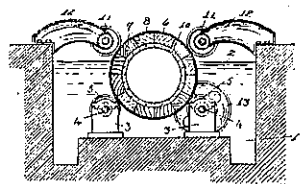
操作によつて濾床より掃除された汚物を混じた洗滌水と濾過水との流通を阻止して後者の汚染を防止せんとしたものである。

コンクリート筒遠心塑造装置

(特許第137732號 (特許權者) 發明者) 高岡石松

筒狀回轉型(8)を水中に於て支承し水の浮力を利用して回轉型(6)の支承輪(5)に負荷せられる荷重を減じ大徑大重量のコンクリート筒の遠心塑造を可能ならしめたものである(圖-6)。

圖-6.



セメントを使用する可塑物體の製造法

(特許第 35764 號 發明者 (特許權者)
青田松次郎 特許權者 眞鍋武雄)

コンクリート、モルタル其他セメントを使用する可塑材料に少量の水を混じた所謂ドライミキスチュアを型に緊密に充填し之に強い壓力を加へて過剰の水分を排出した後減壓することなくその儘強壓を持續しつゝ蒸汽又は熱湯中で適當時間高熱養生を行つて可塑物體(板、管、ブロック等)を製造する方法で、之に依り壓縮ドライミキスチュアは毫も膨脹することなく密度大なるのみならず養生中その水分が蒸發せんとするも強壓の爲氣化する事が殆ど不可能となり養生製品は多孔化せずして質の緻密で硬化の良好なる早強性のものが得られる。

(附) 登録實用新案

可洗滌濾過裝置を有する鑿井

(第 280976 號 公告 14 年第 15514 號)
實用新案權者 中島 稔

濾水孔を有する内外兩管の間に砂利を填充し、兩管の上端を密封し外管には上端側方に排水孔を設けたもの。洗滌する場合には内管内に壓縮空氣又は他の壓力流體を送給して濾過砂利を洗滌して逆流水を排水孔より排出せしめるのである。

内 燃 鑿 岩 機

(第 28'409 號 公告 14 年第 13717 號)
實用新案權者 利源元

液體酸素、壓縮空氣の如き貯槽を使用して給氣を供給せしめて着火の容易、氣筒容積の縮少を圖つたもの。

汚 泥 消 化 裝 置

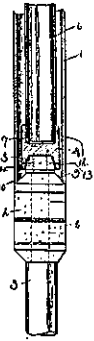
(第 2815 5 號 公告 14 年第 19329 號)
實用新案權者 西原繁三

合 成 杭 埋 築 裝 置

(第 281582 號 公告 14 年第 17296 號)
實用新案權者 重藤三樹 外 1 名

圖-7 参照。本杭 (3) の上頂部に塞栓 (2) を定着し塞栓 (2) の肩部にコンクリート築造用外管 (1) の下端が當接するやうにし、心管 (6) の下端に補強脊 (8) を設けて塞栓と嵌合するやうにし、漏水防止と木杭の打込の容易を圖つたもの。

圖-7.

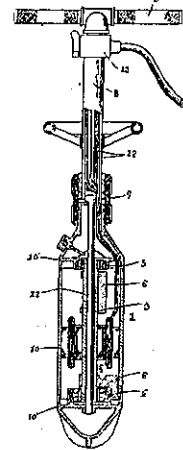


コンクリート振動機

(第 281798 號 公告 14 年第 3544 號)
實用新案權者 杉茂木

振動筒 (1) 内に電動機を挿入し其の軸を筒内の上下 2 個の軸承で支持し軸には發振用重錘を固着し、振動筒と連管 (8) とを可撓管 (7) を以て連結したもの (圖-8)。

圖-8.



鐵網蛇籠凸面形小口

(第 282227 號 公告 14 年第 19902 號)
實用新案權者 東洋實業

鐵網蛇籠の末端を凸面形に仕上げて水流の激突を減じ、河床の接觸を圓滑ならしめる爲、長短 3 種の胴網線を用ひ之等を巧みに緊結して所要形狀を形成せしめたもの。